

間契約時にアスベストが使用されていることが、わからなかったのか。

答 下地材に微量に含まれていたものでわからなかった。発覚した時点で適正な対応をした。以上のような質疑のうち、提案された議案を各委員会に付託しました。



国府小学校北舎

12月8・9・10日
本会議

15人の議員が一般質問を行いました。(P6～P13参照)

12月14日～17日
各委員会付託案件審査

総務厚生委員会

総務厚生委員会には10件の議案が付託され、すべて原案のとおり可決すべきものと決定しました。(P14参照)

文教産業委員会

文教産業委員会には3件の議案が付託され、すべて原案のとおり可決すべきものと決定しました。(P15参照)

予算決算特別委員会

予算決算特別委員会には1件の議案が付託されました。

〔議第104号〕
平成27年度高山市一般会計補正予算(第4号)

本補正予算は、2億7千万円余りの減額補正で、国交付金の減額内示を受け、駅周辺整備スケジュールを見直したことに伴う関連事業費の減額のほか、切れ目のない工事発注に向けた道路修繕等の前倒し実施、8月豪雨に

より被災した道路・河川・農地等の復旧事業、障がい児通所施設等に

対する支援、旧久美愛病院跡地沿線の歩道拡幅などに係る経費を増額しようとするもので、主に、駅周辺整備スケジュールの見直し内容とその影響、道路修繕等におけるまちづくり協議会要望の取り扱い、災害復旧事業の採択基準と対象施設、ふるさと寄附贈呈品のあり方、防火水槽整備に対する考え方などを論点に審査した結果、全員一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。主な質疑は次のとおりです。



改良工事予定の千島松本線

間駅周辺整備に関する事業費減額の内容は。

答 今年度予定していた駅西の電線地中化工事や、土地開発公社からの用地取得を来年度実施することとし、関連事業費を減額した。

市民への影響を極力少なくしたいと考えている。

間道路修繕工事費等の増額補正はまちづくり協議会からの町内要望にも対応できるのか。また、工事の時期は来年度を考えているのか。

答 今回の補正で、対応できるものもあるので、早期にまちづくり協議会を通じて町内会に連絡したい。

工事は来年4月・5月に実施したいと考えている。

間災害復旧事業において国庫支出金の採択基準となる雨量は。

答 採択基準は、1時間雨量20mm以上、24時間連続雨量80mm以上である。

間今回の補正で、8月

の農業災害の全てを対応できるのか。

答 8月の豪雨災害で発生した7か所は、全て復旧できる。

間高山市にふるさと納税した市民に対しても、贈呈品を出すべきでないのか。

答 市民は対象外としている。

間ふるさと納税の現状は。

また贈呈品については、体験型・周遊型・人間ドック券なども取り入れるべきでは。

答 11月末時点で応援メニューごとの現状は、「指定なし」に約4,400万円、観光・産業に約1,400万円、伝統・文化・教育に約1,100万円、自然・景観・環境に約1,700万円、福祉・保健に約1,000万円である。贈呈品については、特徴的で魅力的なものとなるよう検討したい。

間防火水槽設置工事費の減額理由は。

災害時に対応できるのか。

答 国の補助金が不採択になったため減額した。既存の防火水槽を更新するもので、既設の防火水槽と消火栓があり、問題ない。

間障がい児通所支援給付費の増額(新規事業所の開設)により、受け入れできる障がい児はどれだけ増えたのか。また上宝など遠方への送迎は。

答 定員10名の放課後等デイサービスが開設された。遠方の送迎も実施している。

間橋梁の耐震補強の偽装問題が報道されているが、本市の状況は。

答 市において補強工事を行った中では、現在のところ中橋が対象となっていない。

間建設業界に若者を根付かせるために、国では週休2日を義務づけた工事発注を試している。市の考えは。

答 国・県の状況を見な